

# お盆の行事

## お盆の意味

盂蘭盆（うらぼん）というのが正しくインドの言葉で「逆さに吊り下げられた苦しみ」という意味のウランバナを幹事に音写したものです。むかし、お釈迦様のお弟子の目連さまの母親が餓鬼道に落ちたとき、お釈迦様の教えに従って多くの高僧たちに供養し、母を救ったところからはじめられたもので、仏様や先祖の恩に感謝し、力強く生きることを自覚する行事です。

## お仏壇でのおかざり

最近では部屋のスペースに余裕がない為、別個に盆棚を作らず、お仏壇の中に霊供膳を置き、その左右に蓮の葉や季節の初物を供えて盆の飾りにします。もう少し丁寧にするとその霊供膳の壇の下にマコモのゴザを垂らすようにして敷くとよいでしょう。

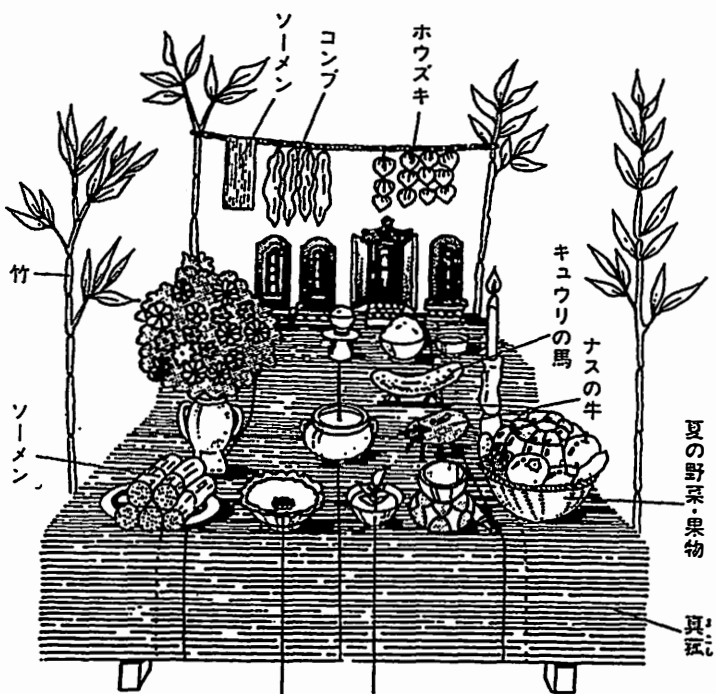
## お盆と提灯

お墓にお参りしてローソクの火とともに線香を手向けます。そしてそのローソクの火を盆提灯に移して家に持って帰ります。提灯のあかりで道に迷うことなく一緒に家まで導くという意味がこめられています。軒先にさげる提灯や部屋に飾る提灯も同じ意味ですし、また帰って来られる精霊をもてなす意味があります。

## 胡瓜の馬と茄子の牛

盆棚をこしらえて帰って来られるご先祖様はどうやって来るのでしょうか。今の様にタクシーはありませんから胡瓜の馬、茄子の牛を帰って来る為の乗物としてお供えます。ですからお盆の前には牛や馬を内に向け、お盆のすんだ16日には家の外へ向けしておくように昔から言われています。

盆棚の一例



水の子

(水の実ともいいきゅうり、なす等をさいの目に切ったものをお供えます)

水(みそはぎの花)

(精霊花)近所の花屋さんにあります。

# お盆の行事

日	程
6	上旬
	下旬
7	上旬
	12日
	13日
	14日
	15日
8	16日
	月

↑ お寺様に棚経をあけていただく日はお寺様にご相談下さい ↓

- お寺様への依頼**
- 1 お施餓鬼
  - 2 卒塔婆作成
  - 3 棚経

- お盆の準備**
- 1 盆棚の注文
  - 2 新盆見舞者へのお返しの注文
  - 3 新盆用提灯の準備

盆棚の（精霊棚）の組立・飾り付け  
 お仏壇のお掃除・飾り付け  
 新盆用提灯（白提灯）の飾り付け  
 花・くだもの・季節の初物も購入



※飾り付け準備は12日夕刻か13日午前中に終わらせます

お墓まいり・お墓のおそうじ

## 迎え火

盆提灯に灯をともし、家の門口や玄関先で焙烙（ほうろく）あるいは素焼きの皿にオガラを入れ火をたき、先祖の精霊をお迎えます。  
 （地域により迎え提灯をもっていきます）

み仏様にご馳走をお供えする

お霊供膳・季節の初物・ソーメン・団子などをお供えする  
 （家族が食べる食事の一部や故人の好物でもかまいません）

## お寺参り

盂蘭盆絵の法要をいとなみます。  
 ※お寺様により日取りが違う場合がありますのでおたずねください。

## 送り火

オガラや新盆のちょうちんを焼いて、家に迎えた精霊にお墓に帰っていただきます。盆棚のお飾りやお供えをまとめて、お墓に参り、マコモに包んだりして近くの川や海に流します。（精霊流し）  
 ※最近では川や海の汚染の問題がありますので流すことはできません。

## 月遅れの盆

旧暦の7月-8月13日から16日まで。  
 旧盆のご供養をなされる方は7月にするやり方と同じにやります。

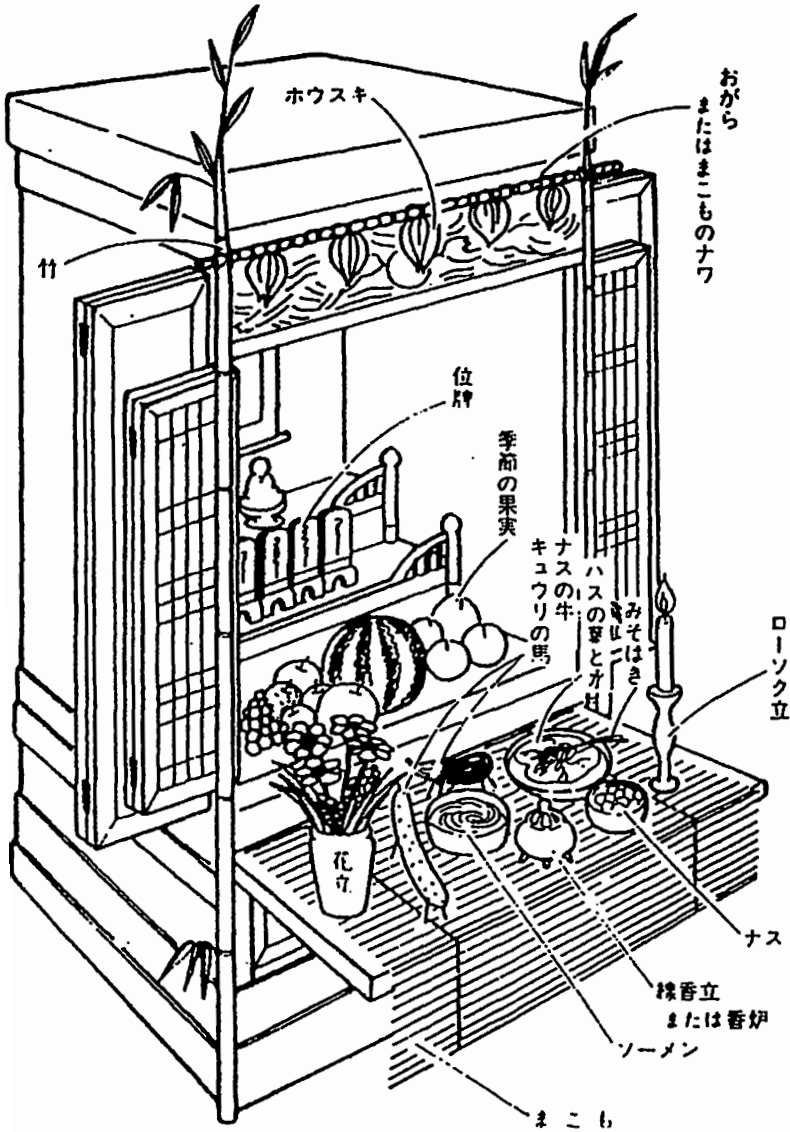
打合せ事項

お寺様の送迎 (又はお車代)  
お布施・お塔婆代・お車代  
料理 (価格・数量)  
供花・供物の手配  
新盆用提灯の手配

(家紋書など日数がかかりますのでお早めに)

一般的なお盆のすすめ方ですが、地域的な習慣により、多少相違がございますので、自分なりにできるだけ心のこもったお盆ご供養をしていただくことがたいせつでしょう。

メモ欄



(有)曾根葬祭

〒154 東京都世田谷区下馬4-2-12  
☎03(3414)1042